

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和6年度事業点検・評価調査

4-Ⅱ-3

4-Ⅱ-3

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備	取組項目	多様な説明媒体の整備
節	Ⅱ. ガイダンス機能・ガイド体制の充実	事業主体	佐渡市世界遺産推進課
事業(施策)名	3 多様な説明媒体の整備	関連団体	県文化課、佐渡地域振興局(地域振興担当)
事業実施期間	H28～R6		
事業概要	【事業目的】 ○ 説明媒体の整備により、来訪者の構成資産に対する理解促進を図る。 【事業内容】 ○ 構成資産の価値を分かりやすく説明するため、関係機関と協力し、ICT等を活用した映像の提供や多言語機能など、効果的な様々な説明媒体と整備する。 ※ICT:Information and Communication Technology 【本計画終了時点のゴール】 ○ 既に設置したサインの4割(西三川地区の解説サイン)の多言語化を完了させる。(来訪者の現地受入体制を充実させることで、利便性が向上する。)		
これまでの取組実績	○ 来訪者向けのパンフレット(外国語対応したものを含む)を作成し、各種施設での配架、イベントでの配布などを行った。 ○ 最新の推薦書案の内容を反映させるよう、随時内容の見直しを行った。 ○ ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」においては、ICTを活用した展示内容としたほか、現地ガイドアプリを開発した。 ○ 令和4年度には、宗太夫坑及び道遊坑坑内で使用が可能な「佐渡金銀山音声ナビ」(日・英)を整備した。 ○ 令和5年度に、西三川砂金山既設解説サインに英訳用のQRコードを設置した。		
事業計画と実績	【R6年度計画】 ● ガイダンス施設「きらりうむ佐渡」展示室内に、世界遺産の価値を紹介する追加展示の設置を行う。 【R6年度実績】 ● 「きらりうむ佐渡」展示室内において、世界文化遺産となった「佐渡島の金山」の価値などを紹介した追加展示パネルを設置した。		
事業評価	【ゴールに対する計画終了時の達成度】 [A ・ (B) ・ C] ◇ 西三川砂金山の既設解説版への他言語対応(英語)の追加を含め、概ね計画通りに進められたことから、B評価とした。		
課題	■ 今後もより効果的な説明媒体の採用について検討する必要がある。		

A: 予定を上回る進捗
B: 概ね予定どおり
C: 遅れている。